

# 委員会審査概要

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします

## 総務水道常任委員会

◆吉川市一般会計補正予算 特別額給付金未申請96世帯について。一人暮らしや高齢者への対応は。

民生委員や福祉部門等と連携して対応をした。申請漏れは概ねなかった。申請意欲のない世帯もあったと認識。 ◆新型コロナウイルス感染症 臨時交付金について。実施計画の内容は。

これまで一般財源で処置したもののへの充当や繰越明許で次年度に持越す事業がある。分散勤務用端末整備、市民農園再整備、旭小、栄小のトイレの洋式化改修工事等。

賛成全員で可決

◆吉川市一般会計当初予算 固定資産税の減額理由。都市計画税と連動か。

固定資産税は3年ごとの評価替えにより約2億2800万円減等。都市計画税も同様に減少。固定資産税、都市計画税共に、新型コロナウイルスの影響によるものは全額補填措置に。

◆高速鉄道東京8号線負担金が令和4年から3年間で493万円。負担割合は。

沿線自治体である草加、越谷、八潮、吉川、松伏、野田で均等割りとし、同額負担とする協定を結んでいる。

◆タクシー利用助成事業検討 委員会の今後の在り方。

今年度同様、有識者、公共交通事業者、国、県の関係者、地域の方々に公共交通全般に関してご意見を頂きたい。

賛成多数で可決

## 水道事業会計

◆鉄さびの混入で654万円の損害賠償。内容と保険料は。賠償内容は原材料費、人件費、経費、利益損失、消費税

等。保険料は16万2千円だが、本件で更新後は倍位に値上る。

賛成全員で可決

## 文教福祉常任委員会

### ◆吉川市子ども発達センター

条例の一部を改正する条例 国の指針では、幼保育園から小学校までを訪問支援先として想定しているようだが、こども発達センターはどこまでの訪問を考えているか。

将来的には、保育所のみならず、国が示す学校等への訪問を考えているが、来年度は放課後クラスに通う児童を対象に行っていく。

賛成全員で可決

### ◆障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート

基金条例



基金は、実習受け入れのための支援やグループホーム整備促進に活用していくとの答弁であったが、具体的にどのような支援か。

検討段階ではあるが、体験実習を受け入れる企業等が受け入れに要する様々な支援や空きアパートや空家を活用して、整備するというようなグループホームへの支援を検討している。

賛成全員で可決

◆吉川市一般会計予算 コロナ禍において、女性や

若い方の自殺報道もあるが、当市の自殺の現状は。

当市の令和2年度の自殺者は、暫定値であるが11人となっており、令和元年度は10人であった。

◆児童虐待の関連で、児相と連携している児童の年間件数と一時保護対象者数は。

当市における昨年度の虐待相談対応件数は299件で、一時保護の対象者数は、現時点で3名である。

◆学校教育が大事。教育支援センターでやるべきことは。

学校になじまない子供達が自立に向けた力をつけていくことがセンターの役割である。

賛成多数で可決

## 建設生活常任委員会

◆吉川市空家等の適正管理等に関する条例